

## 令和四年第四回薩摩川内市議会定例会 施政方針等の概要

令和四年第四回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、災害対応に関しましては、先月七日、私自ら、災害対応力の強化を図り、迅速かつ的確な判断・指示を行う力を養うため、風水害をテーマとして総務省消防庁が全国の市町村長を対象に行ったウェブ研修を受講し、研修指導員からマンツーマンで指導を受けたところであります。

そのような中、先月十五日に、鹿児島地方気象台が九州南部に線状降水帯の事前予測を初めて発表しました。同日夜には、二十一時三十七分の大雨警報の発表を受け、樋脇・入来・祁答院地域に避難指示を発令いたしました。

また、先月二十日の大雨では、零時二十分の甑島区域、零時五十一分の本土区域への土砂災害警戒情報の発表を受け、里・上甑地域及び本土区域に避難指示を発令いたしました。夜間における避難指示ではありませんでしたが、市民の皆様に対し、安全な場所で身を守る行動をとるよう呼び掛けたところであります。

さらに、先月は、十一日に川内川河川事務所、十三日には九州地方整備局、二十日には国土交通省本省に対し、川内川における治水事業の着実な推進、治水安全度の向上、排水施設等の確実な機能保持、流域治水の計画的な推進等について、強く要望して参りました。

今後、本格的な台風シーズンを迎えるに当たり、迅速かつ的確な避難情報等の発令を行うとともに、引き続き職員一丸となり、災害対策に万全を期して参る所存であります。

先月十七日には、四年ぶりとなる第十回薩摩川内市消防操法大会、先月三十一日には、第四十九回鹿児島県消防協会薩摩支部消防操法大会が開催され、同日にポンプ車の部で優勝した川内中央北分団が、今月二十六日に開催予定の第三十五回鹿児島県消防操法大会への出場を決めました。日頃の訓練の成果を十分に発揮することを期待しております。

新型コロナウイルス感染症につきましては、感染力の極めて強いオミクロン株派生型B A・5系統への置き換わりなどにより、全国各地で急激な感染拡大が続いております。鹿児島県においても、一日当たりの新規感染者数が連日過去最多を更新し、爆発的な感染拡大に歯止めが掛からない状況であります。

本市におきましても、連日、二百名前後の新規感染者が確認

され、若年層を中心に感染が拡大していることから、市長メッセージの発出等により、基本的な感染防止対策の徹底や重症化リスクの高い方々に対する御配慮などをお願いしているところであります。

また、新型コロナウイルスワクチンの接種に関しましては、今月二十一日現在において、三回目接種については六十六・四パーセントの方々が、四回目の接種については十五・〇パーセントの方々が接種を済まされています。ワクチンの追加接種により、発症予防効果や重症化予防効果が回復するとされており、発症予防効果や重症化予防効果が回復するとされており、望まれる方は、ぜひ早めの接種をお願いいたします。

なお、今月一日、市立診療所におきまして、五歳未満の幼児へ新型コロナウイルスワクチンを誤って接種する事象が発生しました。被接種者及びその御家族に対し、心よりお詫びを申し上げますとともに、再発防止の徹底を図って参ります。

さらに、コロナ禍による影響を受けている小売・サービス業、飲食業等への消費喚起を促すため、鹿児島県の支援事業を活用し、先月二十五日、地域の商いパワーアップ事業に係る経費として、八千四百八十万円の補正予算を専決処分いたしました。

一方で、不安定な世界情勢に端を発した原油価格や食料品等

の価格の高騰により、市民生活への影響が大きくなってきていることから、今回の第五回補正において、国・県の支援制度を活用した物価高騰対策や地域経済への支援等に係る経費を計上したところでございます。

引き続き、市民の皆様に取り添った、きめ細やかな支援に取り組んで参ります。

先月九日から十九日までの十一日間、Vリーグに所属するヴェクトリーナ姫路バレーボールチームの合宿が行われ、期間中に市内中学校の部活動に選手が出向いて直接指導を行う活動や、「バレーボール教室イン甕島」と銘打った、甕島の子どもたちへの競技指導が行われました。また、先月二十四日から今月十日までの十九日間、バレーボール女子日本代表チームの合宿が行われ、公開練習も行われました。夏休み期間中でもあったことから、市内外から多くの皆様が見学に訪れていました。

また、先月二十九日から三十一日までの三日間、コカ・コーラレッドスパークスホッケー部の合宿が行われました。これは、本市のスポーツ大使である大田昭子氏との御縁によるものです。ります。

このような合宿が本市で行われることで、日本を代表するトップ選手のプレーに触れ、指導を仰ぐ機会ができましたことは、

子どもたちの競技力向上及び本市のスポーツ振興に大きく寄与するものであり、今後の各チームの更なる御活躍を願っております。

さらに、今月二十六日から二十八日までの三日間、第三十回全国中学生空手道選手権大会が開催されます。来年十月の燃ゆる感動かごしま国体の開催に向け、気運の醸成を図って参ります。

このほか、先月三十一日から今月九日までの十日間、SSプラザさんだいにおいて、日展鹿児島会薩摩川内展が開催されました。この展覧会は、地方巡回展として、三年に一度を目安に開催されているもので、今回、本市では初めての開催となりました。会場には、洋画、彫刻、工芸美術、書の四部門合わせて百十点余りの作品が展示され、市内外から多くの皆様にお越しいただきました。開催に御協力いただきました日展鹿児島会の皆様には、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

先月十八日には、入来町のぶどう園において開催された鉢入れ式に出席して参りました。本市のぶどう生産量は、県内一位の実績となっております。燃料及び資材価格の高騰や担い手の高齢化など、大変厳しい状況の中ではありますが、新たな生産者育成や品種改良等に取り組むとともに、更なる農業振興に大

いに期待しているところでございます。

今月二日には、第十二回全国和牛能力共進会地区二次予選会が開催され、本市からは、これを勝ち抜いた八頭が、今月二十八日から開催される県最終予選会に出場することとなりました。十月の第十二回全国和牛能力共進会鹿児島大会出場に向けて、「チーム北さつま」として関係機関の皆様と一体となって取り組んで参ります。

さらに、今月十六日には、川内商工会議所主催による川内川花火大会が、新型コロナウイルス感染対策を十分に徹底した上で三年ぶりに開催されました。多くの皆様が観覧されており、交流人口の創出と地域の活性化に大きく寄与し、また、市民の心に活力を灯す、大輪の花火でありました。

来月二十二日には、川内大綱引保存会主催による川内大綱引が、綱練り・神事のみではありますが、開催される予定であります。また、十月九日に開催予定の、五年ぶりとなる市民運動会に向けても、準備を進めているところであります。

今後も、コロナ禍におけるウィズコロナの方針の下、感染対策を徹底しながら、関係団体の皆様と力を合わせ、交流人口の創出に全力で取り組んで参ります。

次に、先月二十六日には、「サーキュラーパーク九州」の実

現に向けた連携協定を締結いたしました。これは、本市、学校法人早稲田大学、株式会社鹿児島銀行、株式会社ナカダイホールディングス及び九州電力株式会社の五者により、川内（火力）発電所跡地において、資源循環の拠点「サーキュラーパーク九州」を実現するため、具体的な検討を開始するものであります。

本市においては、これまで、昨年六月八日に「薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」を行い、同年九月二十七日には、九州電力株式会社鹿児島支店と「SDGs・カーボンニュートラルに関する包括連携協定」を締結したところであります。

私としても「アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望」の中で、川内港臨海ゾーンにおいて、循環経済・産業拠点の創出を目指していく旨を発表し、本年二月二十一日には、川内（火力）発電所の跡地活用について基本協定を締結いたしました。その後、九州電力株式会社を中心に、関係機関と調整を進め、今回の協定締結に至ったものであります。

本年五月に「SDGs未来都市」に選定された本市といたしましては、この協定に基づく各般の取組が、本市の地域振興並びに経済発展のみならず、本市におけるSDGsの推進及び普及・啓発、カーボンニュートラルの達成に大きく貢献するもの

と期待しております。

なお、今月十日には、「循環経済産業都市づくりに関する支援」を含め、原子力発電所の安全確保と防災体制の確立、甌島地域における医療の確保及び医療体制の充実、県道等の整備、県管理河川の整備促進及び維持管理の充実をはじめとする国・県事業の実施に関する二十三項目について、川添議長とともに、塩田康一鹿児島県知事に要望を行ったところであります。

市民の皆様と市長との対話の場である令和コミュニティトークにつきましましては、昨年十一月の甌島を皮切りに、先月二十七日に水引中校区で開催し、今月四日に川内南中校区、今月十七日に川内中央中校区と、順次進めて参りました。地域の皆様と第四期地区振興計画の進捗状況の振り返りや問題点・課題を共有するとともに、いただいた意見を市政に反映して参ります。

なお、地区コミュニティ協議会及び自治会制度の見直しにつきましたは、引き続き、検討を進めて参ります。

さらに、第三次総合計画の策定に向けて、先月三十日には、「薩摩川内市まちづくりデザイン会議」を設置し、高校生を含む六十二名の委員の皆様にご嘱状を交付しました。来年一月の提言取りまとめに向けて活発な議論を重ねられ、本市の持続可能な輝かしい未来に向けた将来都市像を描いていただきますよ



う期待しているところであります。

さらに、今月三日には、本市が薩摩川内市みらいアドバイザーとして委嘱している川内高等学校三年生十名による政策提言発表会が開催され、五つのテーマについて、若い視点からの斬新で貴重な提言をいただきました。令和二年度から継続して検討・研究に取り組んでいただいたことに対しまして、ここに深く感謝いたしますとともに、今後の政策立案や総合計画の策定過程において、提言を反映して参ります。

また、教育分野に関しましては、児童数の減少が進んでいる地域から、小学校再編についての御意見等が出されております。先般、説明会において地域の皆様の様々な御意見をいただきましたことから、地域児童にとって望ましい教育環境の整備に向けて、地域との対話を深め、検討を進めて参ります。

次に、補正予算案について御説明いたします。  
今回の補正予算案は、一般会計において十三億七千三百九十三万五千円の増額補正を、四特別会計において千百十六万七千円の増額補正を、また、三公営企業会計に係る補正を提案したものであります。

一般会計については、歳入において、補助内示等に伴う国・県支出金及び市債を調整したほか、繰越金の増額などを行った

ところであります。

歳出においては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、消費喚起事業に係る経費、スマートデジタル推進事業に係る経費、高齢者訪問給食や保育所等の給食に係る支援に要する経費、肥料や飼料、燃油の高騰の影響を受けている農畜産業・水産業経営者等に対する支援に係る経費などの計上を行っております。さらに、職員異動等に伴う給与費関係の調整を行うとともに、前年度繰越金の確定に伴う財政調整基金への法定積立を追加したところであります。

また、特別会計等についても、一般会計と同様に職員給与費関係の調整などを行っております。

なお、今定例会におきましては、補正予算案のほか、薩摩川内市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてをはじめとする各議案について、御審議をお願いしておりますが、会期中に令和三年度各会計決算に係る認定議案等を追加提案させていただく予定でありますので、御了承を賜りたいと存じます。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・課長から説明をさせますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。